

高 たちばな

会長挨拶

同窓会会長 丹羽 典彦



卒業生の皆様におかれましては、各界・各地でご活躍のこととお喜び申し上げますとともに、本会活動にご理解を賜り厚く御礼申し上げます。

私は、2004年9月に長年にわたり本会発展のためにご尽力されてきました辻前会長の後任者に選任された第一期卒業生の1人でございます。

ところで、私どもの母校は、愛知県内の私立高校としてはいち早く、男女共学の普通高校として昭和33年に誕生しました。学校名の変遷もありましたが、校舎も名古屋市内から現在の知多半島の先端に位置する美浜町へ

の移転が完了してから早23年目を迎えており、この間卒業生（会員）も11,800名余を輩出されております。

こうした中で私ども同窓会は、会員相互の親睦と母校の発展に寄与するため、卒業年度毎に選任された幹事さんを中心として各種事業の展開に当たらせていただいております。

また、名古屋市内に校舎があった時代に卒業された方々の合同同期会の開催について下記のように計画しております。関係各位の積極的ご参加をご期待申し上げます。

なお、同窓会の日常的活動につきましては、ホームページを開設しておりますのでご覧頂ければ幸いです。

最後に、今後とも本会事業推進にご協力とご参加を下さいますようお願いいたします。



同期会・クラス会の報告、案内

予定や実施報告等がありましたら、ホームページや高校まで情報をお寄せ下さい。

付属高校合同同期会（名古屋時代同窓会）

同窓生のみなさん、こんにちは。皆様いかがお過ごしでしょうか。

名古屋時代の同窓会を行ってほしいという要望があり、同窓会交流企画委員会で企画の検討をしています。詳細はまだ未定ですが、内容が決まりましたら案内しますので、ぜひご参加ください。

開催日 2006年8月上旬

会場 愛知県勤労会館（名古屋市昭和区鶴舞）

3年A組クラス会報告

2002年度卒業（第43回生）幹事 山崎由香里

開催日 2005年3月5日(土)

会場 がんこ亭（阿久比）

参加者 17名

三宅、浅野両先生を囲む会（慰労会）

1977年度卒業（第18回生）幹事 中村勝彦

開催日 2005年3月20日(日)

会場 あらたま武儀

参加者 32名

同期会案内

2001年度卒業（第42回生）幹事 江ノ上敦士、武田恵子、廣瀬美子、議長団

開催日 2006年2月4日(土)

会場 ホテルオークラ（丸の内駅より徒歩）

会費 5,000円

問い合わせ先 nfu_2002_2_22@yahoo.co.jp

同期会案内

2002年度卒業（第43回生）幹事 大久利勇輝、山崎由香里、榎本千香

開催日 2007年1月6日(土)

会場 半田近辺

詳細は検討中です。

同窓会活動報告

【2004 年度 事業活動報告】

1. 高校文化祭「ゆりのき祭」への参加
2. 継続的なホームページ運営と管理
3. 会報発行に関する計画
4. 会員情報の取り扱いについて検討
5. 同窓会会則改定の検討と立案

【2005 年度 事業計画】

1. 会務の運営強化
2. 会員（幹事）交流事業の実施
3. 同窓会会報の発行等広報活動の実施
4. 在校生との交流・支援事業の実施
5. 母校並びに関係支援団体との連携強化

常任幹事会報告

【常任幹事会開催の状況】

常任幹事会は同窓会の運営の基盤となる案件の立案・年度の基本的方針と計画等をまとめ、年に5回から8回程度開催しております。常任幹事会のメンバーは幹事会で選任されたメンバーと役員および顧問で構成しています。

これまでに、同窓会会則の大幅な見直し・検討を重ね、今年度幹事会において会則改正を行なうことができました。また、同期を越えた同窓生の交流イベント等をおこない、多彩な交流活動もしてきました。また、学校や後援会との交流にも参加し、幅広い母校の発展への協力もおこなっております。

今後の同窓会のあり方と、会の運営に関わる重要な資金面の検討や、同窓生相互の交流の形などを引き続き検討し、同窓生自らの力で継続した会の運営が続けられるよう活動していきたいと思っております。

会計報告

【2004 年度同窓会決算報告】

《収入の部》

項 目	2004 年度予算額	2004 年度決算額	備 考
前年度繰入金	4,592,893	4,592,893	普通預金+定期預金+郵便貯金
会費収入	1,005,000	990,000	入会金 (@5000×198 名)
利息収入	1,000	351	銀行・郵便利息
雑収入	0	24,637	郵便振替口座解約、卒業生より
合 計	5,598,893	5,607,881	

《支出の部》

項 目	2004 年度予算額	2004 年度決算額	備 考
消耗品費	170,000	640	* 業務費
消耗品費	50,000	0	印刷用紙など
印刷費	50,000	0	長 3 封筒など
通信費	10,000	220	
アルバイト費	50,000	0	
その他	10,000	420	残高証明書発行手数料代
会議費	90,000	40,230	* 通信費、飲料費
総会	0		実施なし
幹事会	40,000	32,333	2 回実施
常任幹事会	20,000	7,897	6 回実施
委員会	30,000	0	未執行
事業費	1,340,000	441,399	* 各事業運営費
文化事業、懇親会	0	0	実施なし
会報発行	640,000	0	未発行
ゆりのき祭	100,000	40,979	ゆりのき祭(支出41979-カンパ4000)
ホームページ制作	500,000	300,420	年間契約 30 万
特別給付奨学金	100,000	100,000	2004 年度積立分
備品費	0	0	
予備費	100,000	0	
支出合計	1,700,000	482,269	
次年度繰越金	3,898,893	5,125,612	
合 計	5,598,893	5,607,881	

【2005 年度同窓会予算】

《収入の部》

項 目	2005 年度予算額	備 考
前年度繰越金	5,125,612	普通預金+定期預金
会費収入	1,125,000	入会金 (@5000×225 名)
利息収入	500	銀行利息
雑収入	0	
合 計	6,251,112	

《支出の部》

項 目	2005 年度予算額	備 考
消耗品費	120,000	* 業務費
消耗品費	50,000	印刷用紙など
印刷費	50,000	封筒印刷など
通信費	10,000	
アルバイト費	0	
その他	10,000	残高証明書発行手数料など
会議費	188,000	* 通信費、飲料費
幹事会	90,000	@20000×2 回、交通費
常任幹事会	48,000	@3000×6 回、交通費
委員会	50,000	各委員会@5000、交通費
事業費	2,850,000	* 各事業運営費
文化講演会	50,000	9 月 3 日後援会主催
会報発行	1,700,000	印刷費、通信費、発送作業委託費
交流企画	500,000	ゆりのき祭、幹事間交流、名古屋同窓会ほか
ホームページ運営	500,000	年間契約 30 万、修正 20 万
特別給付奨学金	100,000	
備品費	200,000	会員情報メンテナンス用パソコン購入
予備費	1,393,112	
支出合計	4,751,112	
次年度繰越金	1,500,000	定期預金分
合 計	6,251,112	

『なるには講座』 2005年7月23日（土）

教育活動、進路指導の一環として、1・2年生を対象にした「職業別講座」を7月23日に行いました。「なるには講座」と題して職業理解のために全部で30種類、39限の講座が開催されました。同窓生も10人が講師となり高校生に自分の近況や体験談を話し協力する事ができました。

講座の様子 「初めは緊張したけど、高校生の真剣な態度を目にして、自分も熱く語ってしまった。」
「もっといろんな話しがしたかった。時間が足らなかった。」
「高校生のアンケートを見てびっくり。ぎっしり感想が書いてあり嬉しかった。」
と、講座を終え控え室に戻ってきた講師の方々の声。
参加した生徒からは、
「施設の職員になりたいと思っていたが、どんな資格が必要かがよくわかった」（児童養護施設）

「ケアマネに関心があったが、仕事内容など知ることができた。ケアプランを作成するのもパソコンなので使えないとダメだとわかった」（ケアマネージャー）

「生きているものを相手にする仕事は、大変だとわかった。動物が好きだけでは、出来る仕事ではなさそうだと理解できた」（動物病院）

「仕事を完璧にすること、期限までに提出することなど、仕事の厳しさを講師の方から教えられました」（公務員）

「今までは『英語なんて使わないし、勉強なんて…』と思っていた。けどこの話を聞いて考えがかわった。大事なのは、『英語』と『好奇心』（アロマセラピー）

今後もこのような機会があれば、私達、卒業生も希望に満ちた未来がある高校生のお役に立てるように協力していきたいと思います。

2005年度なるには講座一覧	
児童養護施設で働くには*	学童保育所で働くには*
老人福祉施設で働くには*	障害者福祉施設で働くには*
理学療法士として働くには*	医療ソーシャルワーカーとして働くには*
ケアマネージャーとして働くには*	臨床心理士として働くには*
看護師として働くには*	医療事務の仕事
アロマセラピーの仕事*	動物病院で働くには*
パティシエ・製菓の仕事	管理栄養士として働くには*
自動車整備士になるには*	インテリア・建築の仕事
養護学校教員になるには*	保育士・幼稚園教諭になるには*
美容師・理容師になるには*	ファッション・服飾の仕事
旅行会社で働くには*	公務員として働くには*
消防士になるには*	カメラマンになるには*
スポーツ関係の仕事に就くには*	国際的な分野で働くには*
税理士になるには*	レポーターになるには*
就職活動で成功するには*	やりたい仕事を見つけるには*

*は本校卒業生が講師をした講座

文化講演会への参加 2005年9月3日（土）

「日常生活のなかでの健康づくり＝介護保険制度改革の『介護予防』に焦点をあてて＝」講師 岡川暁（日本福祉大学教授）

高校後援会とPTA共催で同窓会が後援をした文化講演会が行われ、58名（同窓生14名）の参加で岡川先生のお話を聞きました。

今回の講演会では、2004年4月からスタートした介護保険制度の柱の一つである「予防重視型のシステムへの転換」について学び筋力トレーニングによる介護予防、リハビリ効果を知り「日常生活の中での健康づくり」「介護予防」を学習しました。

筋力トレーニングにおける若年層と高齢者の筋線維や運動神経の特徴やトレーニングの方法なども教えていただきました。

受講者の一人で元校長の飯鉢先生は「ご自身の病気や家族の介護の経験を機に健康について考えている」という質問と同時に「まだまだ元気に」と決意を語られていました。（在職の頃の飯鉢節は今も健在です。）

講演会の後は懇親会も開かれ、50名（同窓生12名）が参加しました。立食パーティーの中では日本福祉大学卒業生の安川誠さんによるオカリナやギターの演奏を聞いたり、参加者の近況や思い出話等のスピーチでとても楽しいひとときとなりました。そして、今後の活動に向けて後援会、PTA、同窓会の協力を確認してお開きとなりました。

ゆりのき祭開催に同窓会として4年連続参加 2005年10月2日（日）

2002年度から4年連続ゆりのき祭に参加し、在校生と卒業生のコミュニケーションをはかりました。

内容 今年は図書館横の部屋で、例年のように「高校の歴史」や「歴代の校歌」、卒業アルバムの展示と同窓会紹介のビデオ上映を行いました。また、改たに同窓会メンバー紹介や活動風景の写真を展示するなど、同窓会活動の紹介についても力を入れました。

展示の中で特に人気があったのが、先生や卒業生の高校生時代の写真展示でした。（仲間内ではビフォー・アフターと呼ばれていました。）あの先生は昔こんな感じだったんだ。昔は……

野外特設会場では、同窓生と生徒による餅つきをして、つくたてのお餅をみんなに食べてもらいました。

感想 準備から当日まで数多くの皆さんに手伝っていただきましてありがとうございました。毎年、新たな問題が発生してそれをみんなで解決しています。そこが、同窓会の絆を強くしています。

今回も記憶に残る「ゆりのき祭」になったと思います。

それではまた、来年もゆりのき祭でお会いできる事を楽しみにしています。



日本福祉大学付属高校特別給付奨学金のご報告とお願い

卒業して相当に月日を重さね、中年と云われる年頃になった現在、過去の記憶を、懐かしく思い出しながら考えてみました。高校生活とは——「青春時代の一つ…」、「人生の分岐（学生生活の継続・就職）…」、そして何よりも多くの、友達との楽しかった『思い出』を…。多くの、会員の皆様のご同様である、と思います。

その『思い出』を支える・大切にす為の『日本福祉大学付属高校特別給付奨学金』に付きまして経済的事情により学業・高校生活の継続が難しい高校生のため、学資金の給付により救助・救援する事を目的に、毎年度に同窓会の予算から『奨学基金』、として積み立てをしております。

この奨学金は同窓会会則（目的）2条の趣旨により、2003年度から毎年10万円を予算として計上をしております。

そして、今年の10月に設立後初めての奨学生を採用しました。

同窓会としても、更なる援助・救援を進める予定ですが、少しでも皆さんの協力・善意をお願いしたいと思います。

HP 委員会の取組みについて

最近、更新が遅れておりまして申し訳ありません。現在は（ホームページ）開設以来、更新ができていませんでした「恩師は今…」コーナーの更新準備をしています。このコーナーは皆さんの期待も高い部分だと思います。楽しみにして下さい。

依頼を受けられた先生方からの返信を心待ちに致しておりますとともに、依頼を受けられていない先生方でも私たちにメッセージがありましたら、是非同窓会までご連絡下さい。

また、「編集後記」にもありますように、ホームページは会報に代わる同窓会情報の発信源でもあります。同窓会からの情報発信や活動報告等は随時していきますが、会員の皆さんも「同窓会等の案内・報告」や「交流のひろば」など、積極的に参加をしていただけるようによろしくお願い致します。

2003年度から2004年度までの 施設設備等の環境整備事業推進状況

- ①エレベータや障害者用トイレなど校舎のバリアフリー化事業
- ②「総合的な学習の時間」などに対応する多目的教室の設置（2室）
- ③放課後の学習場所として図書室内に自習コーナーを設置
- ④その他教員室内の拡張など高校独自事業
- ⑤情報教室のパソコンの入れ替え及び多目的教室等の校内LAN整備
- ⑥美浜キャンパスに三つのフィールドを持つ学園共有の新グラウンドが完成



● 恩 師 は 今 ●



元教師の生きがい 富田 則夫

1945年、旧制中学3年生だった私は人生は長くて25歳と決めていた。当時の日本人にとって最も大切なものとされた天皇と国家のために鴻毛よりも軽いとされた自分の命を戦場に散らす覚悟であった。その私が現在74歳になってもまだ生きている。運がよければ、10年20年とこの後生きられるのかもしれない。そしてやりたいこともある。

大太平洋戦争が終って60年、教師として「教え子を再び戦場へ送るな」「ひとりではみんなのために、みんなはひとりのために生きよう」を合言葉にして教育を推めてきた。そして日本人は現憲法のもと戦争で外国人を殺したり、外国人に殺されたりすることはなかった。一応、責任は果たしたかに見えた。しかし今、「憲法を変えて戦争に行こう」という勢力が出てきたのだ。これは放ってはおけない。

一人一人が幸せに生きる権利を最も大切なものとする現在の憲法を守りぬく日本人として誇らしく生きてゆきたい。



近況報告・「何は無くとも」飯鉢 武男

皆さん、お元気でいらっしゃいますか？
私も73歳のどこからどう見ても一丁前の立派な（？）老人になりました。この頃、折にふれて皆さんに話した言葉のあれこれを思い出しては、自分自身を励ましています。

例えば、「何は無くとも」と来れば、そう、「先ずやる気」でしたね。私もやる気に満ちた老後を目標にしていますが、やる気は後向きの人生からは生まれては来ません。ですから、「俺も若い頃は…」なんて言い訳がましいことを言わずに、10年先、20年先の夢の実現を大切にしようと思っています。

でも、いくらやる気満々でも、それを支える「体力（健康）」と「知力（惚けない脳みそ）」がなければダメです。そう、やる気より「力」です。

美浜校舎のゆりの木坂を、毎朝自転車を漕いで上ったのもなつかしい思い出ですが、今でも毎日カッコいい自転車で、美浜の里山を走り廻って「体力づくり」をしています。

最後の「知力」ですが、皆さんに「人間は学び続ける動物だぞ。」なんて偉そうなこと言った手前、気象予報士の資格を目指して、遅々として進まない受験勉強を続けています。

同窓生の活躍



1967 年度（第 8 回生）
日本福祉大学付属立花高等学校卒業

近藤 隆則

東海旅客鉄道(株) 中津川駅長

市電を枳中で降り、聖霊病院を左に見て坂道を校舎まで通ったことを昨日のように思い出します。しかし、卒業してからもう 37 年も経過しており月日の経つのは早いものです。

私は、子供の頃から乗り物が大好きでしたが、高校時代同級生 3 人で将来について語り合っているうちに「国鉄に入ろう」と目標が明確になったことが現在の職にある第一歩でした。

笠寺駅において鉄道員としてスタートしましたが、当初はホームやトイレの掃除、小荷物との格闘に明け暮れており、いつまでもこのままではいけないと一念発起、車掌に 3 年余り従事した後、東京で新幹線指令員を行い名古屋に戻ってからも在来線の列車計画等、長く計画部門での仕事に携わってきました。この経験を基に岐阜駅助役を経て 2 年前に半田駅駅長を拝命、今年 7 月から現職に就いております。半田駅長として勤務した時は一度美浜の新校舎を訪ねたいと思っていましたが、残念ながらその機会に恵まれず残念に思っています。

記憶に新しい JR 福知山線での大事故のように、一つ間違えるとお客様の生命・財産を危険にさらし、社会的影響が計り知れない緊張感に包まれて、気の抜けない毎日を過ごしています。

万博期間中は、中央線高蔵寺駅から愛知環状鉄道線へ直通のエキスポシャトルを運転し、大勢のお客様にご利用いただきました。安全・正確に目的地に到着するお客様の信頼の負託に応えるべく、駅の責任者として社員の監督、指導に精一杯取り組んでいる昨今です。

中津川は妻籠・馬籠に程近く、訪れる観光客も多くなっています。お近くへお越しの際は是非お立ち寄り下さいますようお願い申し上げます。



1978 年度（第 19 回生）
立花高等学校卒業

巾崎 修

創作旬菜 あらたま武儀

私はまだ母校が名古屋の緑豊かな八事の地にある頃に卒業しました。

高校時代の思い出といえば、東山公園で地下鉄を降り、学校までの道を坂を登ったり、降りたりしながら二十分程かけて通ったものです。一年生の時の遠足では、学校から目と鼻の先の東山一万歩コースを歩きました。今思えば、何と健康的な遠足だったんだろうかと懐かしく思いだされます。又その頃の校舎はプレハブの仮校舎で、夏は暑く、冬は風が吹けばガタガタと窓が揺れる、そんな環境のなかで高校の三年間を過ごしました。

卒業後は料理の道に進み、暖簾わけの後、名古屋の瑞穂区新瑞に店を構え、この春にはオープンして三年が過ぎました。地域に根付き、多くの方々に愛される、和らぎのある店を日々目指し、恩師の先生方をはじめ、先輩の皆様、多くの同級生に恵まれ、支えられながら今に致っております。

私のできることは、一人一人のお客様に精一杯のおもてなしをすることです。そして何度でも店に足を運んで頂けることを願って、努力をするだけです。これからも料理を通して多くの方々と関わり続けることを大変嬉しく思います。



2001 年度（第 42 回生）
日本福祉大学付属高等学校卒業

江ノ上 敦士

日本福祉大学 学生

「ゆりのき祭」で得たもの。

やはり付属高校というと、ゆりのき祭（文化祭）が特に盛大に行われています。今回は私が 3 年生の時のゆりのき祭で、自分たちのクラスが何に取り組み、何を得たかを紹介します。

私たちのクラスは展示で、テーマは「海について」でした。大きく分けて 5 つの取り組みをしましたが、その中の 1 つだけを紹介します。それは、3 階の教室の窓から踏み入れることのできる展望台です。

展望台から見える景色は絶景で、伊勢湾を一望でき、その当時建設中の中部国際空港が見えるほどでした。驚くことにその展望台は、3 階の教室から下階の 2 教室までの縦 3 教室の面を巨大貼り絵で覆い尽くし、絵柄は野間灯台付近での水中花火の様子が描かれていました。見たことのないスケールの貼り絵で、最寄りの知多奥田駅から見ることができました。

貼り絵は文化祭の 2 ヶ月以上前から制作してきたもので、クラスの中では協力する人やしない人がおり、集団で何かを

やるということの難しさを知りました。しかし、文化祭が近づくごとにクラスは徐々に全員で動くようになり、クラスが 1 つとなり目標に向かって突き進むことができました。そして完成し、みんなで制作したという達成感を味わえました。

賞をもらった時、「これが、最高の仲間なんだ。」「これが最高の達成感だ。」「これが最高の涙なんだ。」とクラスの誰もが思ったはずです。そう思えたのも、クラスという集団の中でそれぞれが特性を生かせる環境があり、そして完成という大きな目標に向かって本気で打ち込むことができたからです。個人ではなく集団で完成を目指し、本気で打ち込むという過程で自分の長所短所に気付くことができました。特に自分の長所への気付きは自分の新しい可能性を発見できました。

このように、ゆりのき祭で得たものは大きく 3 つあります。「協調性の確立」、「自分の長所短所の明確化」、「自分の可能性の発見」です。このすばらしい体験は高校卒業後にも大きく役に立ち、今もこれからも、社会的人間関係をうまく築くことができるなどの恩恵を受けています。教育は勉強以外にも大切なことがあると言われていきます。まさに「ゆりのき祭」という取り組みの中で、社会で最も必要な力というものを得たのではないかと思います。そのような教育を付属高校で受けることができ、私は非常に感謝をしています。

高校の近況報告

校長挨拶



学校長
福岡 猛志

一昨年の学園創立五十周年（高校創立四十五周年）に際しましては、同窓会の皆様大変お世話になりました。心より御礼申し上げます。周年事業に関する募金活動は、いま最終のとりくみを強めております。いま一度のご支援のほど、よろしく願いいたします。また、それ以来、若い同窓生を中心として、学校祭に同窓会の独自企画をもってご参加いただき、現役の生徒諸君にも大きな刺激を与えてくださっていることも、とてもうれしく思っています。

皆様もお気づきになっておられる通り、今日、教育をめぐる情勢はきわめて混沌としており、私学の置かれている状況も厳しいものがありますが、それを乗り越えて、むしろ私学の優位性を打ち出し、社会の理解と支持を得ることのできる学校を建設していくことが、私たちに与えられた課題であると考えています。

本校がこれまで培ってきた、大切なものを保持しながら、さらにこれまで実現できなかった新しい価値を生み出して行きたいと思っております。私たちが有しているすばらしい建学の精神に立ち返り、日本福祉大学と手を携えた「青年期一貫教育」を柱に、21世紀の福祉社会を支える人材の育成をいっそう推し進めるための教育改革に取り組んでおりますが、年内にも具体的な改革計画を取りまとめることを目指しています。同窓会に対しましても、計画の概要や、事業の進展状況など、ご説明しご検討をいただく機会を持ちたいと思います。

今年の体育祭は、新しいグラウンドで実施することができました。皆様の母校は、いつでも同窓生に対して開かれています。どうかお気軽にお立ち寄りください。

在職教職員紹介

【2005年度教員名簿】

青木律子	英語
浅生京子	英語
石崎 撰	国語
伊藤克之	国語
今田和弘	社会
岩橋由美子	養護
岩本憲之	英語
大井佐織	社会
岡部道宣	数学
加賀敏美	数学
金丸典生	英語
神谷誠一	理科
河合理恵子	理科
近藤美穂子	社会
佐藤耕三	国語
重藤信夫	英語
柴田順三	社会
清木敦史	理科
武井香織	国語
竹内智司	保体

竹島陽子	数学
田中京平	社会
谷合真由美	国語
崔 知華	英語
辻坂英雄	社会
土屋貴則	数学
長谷川友紀	英語
半田裕嗣	数学
日高幸浩	数学
堀 裕	保体
松下悠起	保体
松永太志	社会
松久直史	社会
宮東靖浩	理科
宮本 純	理科
向井直紀	社会
森 あゆみ	国語
安武正浩	英語
山口喜久枝	国語
山田育世	保体

【2005年度職員名簿】

北島明治	事務長
朝比奈園美	人事・教務
保木本 聡	広報・入試

金海和江	受付・証明書発行
山元洋子	庶務
相浦香代子	図書

2003、2004年度をもって7名の先生が退職されました

浅野正武	数学
谷口裕正	国語

古澤信子	数学
松本真弓	養護
三宅勝彦	英語

大月美和	社会
野末訓章	数学

故中村先生のこと

1970年度より本校にお勤めであった中村勲先生が今春4月9日に亡くなりました。長い間闘病生活を続けられながら、3月末まで本校に現役でお勤めでした。私は勤務の都合上お通夜しかおじゃまできませんでしたが、通夜式にも、中村先生を偲ぶ現役生徒はもちろん、数百名の卒業生の皆さんが参列をされ冥福を祈っておられました。

故中村先生は、最後は図書室の係をされ、生徒諸君の読書活動を盛んにすることと、図書室の充実に尽力されました。その先生の遺志を継がれ、ご遺族から多額の寄付をいただきましたので、図書室の一角に生徒諸君が自由にVTRやDVDを鑑賞できるコーナーと、寛げるコーナーを整備しました。ご来校の折がございましたら是非ご覧になってください。

教頭 辻坂 英雄

2005年度



この春の新入生は209名でした。推薦入学者は前年度に比して若干増えたのですが、一般入試での入学者が、前年度比-36となり、先のような数字となりました。まだまだ公立高校の生徒募集の結果に大きな影響を受けています。そんな中で、同窓生のご子弟の入学がありました。ありがとうございました。母校の教育は支持し共感するけれど、「学校が遠くて子どもを通わせられない」という声も聞きます。しかし、日本福祉大学への推薦入学や、いまや本校の看板になっている部活動である和太鼓部での活動を期待して遠くから通っている生徒がたくさんいます。今後ともご支援をよろしくお願いいたします。知多半島以外におみえの卒業生の皆さま、ご子弟の進学先として、母校を検討の範囲に入れてください。決して通えない学校ではないと思います。

1 今春の地域別入学者数

	推 薦 入学者	一 般 入学者	内 訳		合 計
			男子	女子	
知多	108	42	62	88	150
名古屋	23	10	13	20	33
尾張	15	1	8	8	16
三河	8	2	2	8	10
県外	0	0	0	0	0
合計	154	55	85	124	209

2 全校生徒数

	男子	女子	計	クラス数
1年	87	127	214	6
2年	84	142	226	6
3年	82	143	225	6
合 計	253	412	665	18

渉外部長 辻坂 英雄

最近の進路状況と本校の進学指導

本校の進学実績は、この間の「青年期一貫教育と付属推薦制度」により、それまでの専門学校中心から日本福祉大学進学を中核とする四大中心にと大きく変化し、進路先の約6割が四年制大学となっています。一番の進学先である福祉大学には学年の半数近い約90名の生徒が進学しています。福祉大学は最近の2、3年で新しい学部（福祉経営学部）や新学科（社会福祉学部心理臨床学科・福祉経営学部国際福祉開発マネジメント学科・情報社会科学部2学科）が発足し、現在では4学部8学科を擁するまでになりました。それだけ生徒諸君の選択の幅も広がっています。一方、多くはないものの一定数の生徒が福祉大学以外の大学を目指しています。そのためには学力向上が不可欠です。今年度からとりわけ国公立大学や難関私大にチャレンジする生徒対象に学年主任や進路指導部の教員からなる「進学プロジェクト」を発足させ、すべての学年で年間を通じて進学補習や個別進学相談を実施して生徒諸君を応援しています。生徒諸君がより高い目標に向かって努力し、目標を実現してくれることが期待されます。

学園の中にある2つの専門学校（日本福祉大学中央福祉専門学校と同高浜専門学校）にも推薦枠を上回る生徒が希望し、嬉しい悩みです。進路を考える上で大切なものは、学力向上と共に夢や目標を実現する意欲やモチベーションです。

政治や経済の急激な変化と一方で様々な情報が飛び交う現代で、就職・進学を問わず高校生が将来どのような職業を選択するのか、そのために高校時代にどのような進路を間違いなく選択するのかはなかなか容易なことではありません。中には自分のやりたいことが見つからなかったり、人間関係をうまくつくるができずに「ニート」やフリーターが年々増加し社会問題化となっています。

本校では生徒諸君が自分の将来の生き方や職業を発見するために「キャリア教育」を重視し、担任を中心に将来の生き方・進路・学習・生活などについて相談を開始しつつあります。卒業生や父母の皆さんから様々な職業について語ってもらう「なるには講座」もその一環ですが、今年度（7月）は10名の同窓生の方々に講師をいただきました。これからも同窓生の皆様にお世話になるかと思っておりますがよろしくお願いします。

進路指導部長 岩本 憲之

2004年度卒業生の主な合格大学

日本福祉大学（88名）・愛知学院大学・名古屋学院大学・名古屋女子大学・名古屋経済大学・金城学院大学・東海学園大学・東邦学園大学・椋山女学園大学・人間環境大学・中部大学・星城大学・桜花学園大学・東海大学・近畿大学・和光大学・北海道医療大学・沖縄国際大学

● 授業改革を中心とした数学の取り組み ●

ここ数年、授業改革を中心とした教育改革を進めてきました。昨年度から各教科の学ぶ目的や学び方、各科目の年間授業内容などをまとめた「学習の手引き」を作成し、全生徒に配布しています。これは、年間の学習内容を明らかにし、生徒諸君が主体的・計画的に学習に取り組むことを目的にしています。また、教師もこの「手引き」を毎年改訂することが、学習内容をより豊かなものにしてゆく大切な取り組みになります。

2003年度から3年間、「学力向上フロンティアハイスクール」指定校となり、研究対象として英語・数学の習熟度別少数授業の取り組みを行ってきました。「習熟度別少人数」による一定の成果と課題が明らかになってきました。また、この研究対象である福祉大学との共同でつくる授業「福祉社会入門」は実施3年目になり、課題であったクラスワークの充実をはかってきました。

これらの取り組みの中で、主体的な学びを授業の中で作り出すことが一層重要な課題となってきました。新たな課題にさらに挑戦したいと考えています。

教務部長 神谷 誠一

● 生徒の活躍 ●

うれしいニュースを届けます！私学弁論大会にて昨年度代表の高橋さんに続き、今年も3年生の藤江さんが入賞。また「石の上にも三年」の言葉通り、今年3年目の取り組みとなる日本福祉大学主催「福祉エッセイコンテスト」（全国からの応募8千通）の最終選考百通の中に8人の3年生が残りました。いずれも3年間に培った力を発揮しての生徒達の活躍です。学校全体が喜びに湧きました。生徒会も頑張っています。夏から秋にかけて、広島市の平和の灯の自転車リレー、平和宣言文も全校生徒の声を集めながら作成しました。秋にはその世界の平和と教育の公平を求める高校生の思いを市民に伝えようと、県下私学に通う仲間達と「一万人栄パレード」に取り組みました。パレードには全校生徒の過半数に近い三百人余の生徒が参加。同窓生の先輩のみなさん、元気な高校生にエールを送って下さい！

生活指導部長 山口喜久枝

役員（常任幹事）紹介

会 長	丹羽 典彦	1960
副 会 長	片山 隆	1978
	小林 純穂	1987
会 計	福井 政浩	1983
	朝比奈園美	事務職員
常任幹事	福岡 正之	1971
	西村 容子	1978
	富岡 隆治	1983

常任幹事	古川 裕資	1984
	吉村 和幸	1984
	加藤佳奈子	1993
	西 将志	1993
	鈴木 聡子	1993
	江ノ上敦士	2001
	武田 恵子	2001
	廣瀬 美子	2001

常任幹事	榎本 千香	2002
	片山 愛美	2002
	今井 佐栄	2003
監 事	水野 孝安	1964
	小塚 光夫	1968
顧 問	辻坂 英雄	教頭
	北島 明治	事務長

※数字は卒業年度

幹事（世話人）紹介

回生	卒業年数 (和暦)	卒業年数 (西暦)				
1	昭和35	1960	(佐藤 友彦)	丹羽 典彦		
2	36	1961				
3	37	1962	(池田 修三)			
4	38	1963	山東 克彦			
5	39	1964	吉田 孝仁	水野 義広	水野 孝安	
6	40	1965	武田 晃代	島田ひろ子		
7	41	1966				
8	42	1967				
9	43	1968	大久利一男	小塚 光夫		
10	44	1969				
11	45	1970				
12	46	1971	河村 昇	福岡 正之		
13	47	1972				
14	48	1973				
15	49	1974	水野 英子	古澤美代子		
16	50	1975	山口 善幸			
17	51	1976				
18	52	1977	中村 勝彦	鬼頭 和則	青山 智弘	高木 真澄
19	53	1978	片山 隆	西村 容子	桂 佳男	
20	54	1979	高垣 充			
21	55	1980	筧 重和	菊地 淳子		
22	56	1981	岡本 吉治			
23	57	1982	川瀬 克幸	(渡辺 美雪)		
24	58	1983	福井 政浩	榊原 京子	樋口 吉己	富岡 隆治
25	59	1984	古川 裕資	大井智穂子	吉村 和幸	
26	60	1985	福地 充洋			

回生	卒業年数 (和暦)	卒業年数 (西暦)				
27	61	1986	松田 洋幸			
28	62	1987	小林 純穂			
29	63	1988	渡邊真理子			
30	平成元	1989	仲野 智	久田 里子		
31	2	1990	瀬尾 隆之	中野 ゆか		
32	3	1991	木俣 聖佳			
33	4	1992	富田 達郎	竹川 寅之		
34	5	1993	加藤佳奈子	堀場 純矢	西 将志	鈴木 聡子
35	6	1994	白井 雅樹	(榎戸 幸子)		
36	7	1995	佐藤かおり	鶴長 泰輔		
37	8	1996	布目 達彦			
38	9	1997	尾之内 童 寺澤 由紀	白石 優理	長谷川純子	宮川 鮎美
39	10	1998	河内 美和			
40	11	1999	吉口 史晃			
41	12	2000	鶴飼 健史	御手洗 旭		
42	13	2001	江ノ上敦士	武田 恵子	廣瀬 美子	
43	14	2002	大久利勇輝 長坂 創太	山崎由香里 久野 達也	佐々木諒真 堀田 瑞樹	榎本 千香 片山 愛美
44	15	2003	有馬 將太 山下さなえ 内田 愛 小牧 直哉	今井 佐栄 野々垣聡子 小川 友子 相羽 優香	神野 由貴 鈴木 警史 宮澤 枝里 小山 奈未	田島由佳子 小野 七絵 根崎 芳行 深谷 典子
45	16	2004	清水 大介	村上 辰之	山下 雄規	中平 猛

() 世話人 ☐ 新幹事 (2005 年度第 1 回幹事会承認)

☆☆編集後記☆☆

たくさんの皆さんのご協力のおかげで二年ぶりに会報を発行する事ができました。ありがとうございました。

同窓会では、各卒業年度から選ばれた幹事で各種の委員会を組織して活動していますが、まだまだ高校の先生方や事務職員の方々の多くの協力により活動が成り立っている状況です。今後に向けて、卒業生の皆様の各行事への参加や活動に関わる助言をたくさん頂きたいと思います。

また、会報につきましては、同窓会の財源がほぼ全てが卒業時のみの会費となりますので、経費の面で発行が年々難しくなっています。今後の会報や同窓生の皆様との交流手段等、課題を検討していきたいと思います。

今後とも、同窓会活動の充実や発展のためにご協力をお願いします。

常任幹事会会報委員長 古川 裕資

日本福祉大学附属高等学校
同窓会

〒470-3233 愛知県知多郡美浜町奥田字中之谷 2-1
TEL (0569) 87-2311 FAX (0569) 87-2312
<http://www.dosokai.ne.jp/tachibana/>